

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 21 日 (2007.6.21)

【公表番号】特表 2002-543404 (P2002-543404A)

【公表日】平成 14 年 12 月 17 日 (2002.12.17)

【出願番号】特願 2000-615148 (P2000-615148)

【国際特許分類】

G 0 1 N 35/00 (2006.01)

B 0 4 B 5/00 (2006.01)

B 0 4 B 13/00 (2006.01)

G 0 1 N 1/10 (2006.01)

G 0 1 N 33/48 (2006.01)

G 0 1 N 33/86 (2006.01)

A 6 1 L 24/00 (2006.01)

G 0 1 N 1/28 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 35/00 E

B 0 4 B 5/00 A

B 0 4 B 13/00

G 0 1 N 1/10 H

G 0 1 N 1/10 V

G 0 1 N 33/48 C

G 0 1 N 33/48 Z

G 0 1 N 33/86

A 6 1 L 25/00 A

G 0 1 N 1/28 J

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 16 日 (2007.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 マイクロプロセッサおよびメモリを備えた血液処理装置と、
 ユーザインタフェースおよびスクリプトジェネレータを有する外部コンピュータとを含む血液処理装置を制御するためのシステムであって、
 前記血液処理装置が各々 1 つ以上の各作動を行う複数のデバイスを有しており、
 前記スクリプトジェネレータが前記複数のデバイスおよび前記各作動に関連するデバイス情報および作動情報を含んでおり、
 前記ユーザインタフェースが前記デバイス情報および前記作動情報を表示するように構成され、
 前記外部コンピュータが前記複数のデバイスの前記各作動の選択された 1 つを示す選択された一連のステップを記録し、
 前記スクリプトジェネレータが前記血液処理装置の前記マイクロプロセッサによって読み取り可能なカスタム解釈言語で前記選択されたステップを出力し、そして、
 前記スクリプトが前記血液プロセッサの前記メモリ内にロードされるようにした、血液処理装置を制御するためのシステム。

【請求項2】 前記選択された一連のステップは、
血球から血漿を分離するために第1チャンバ内の全血を回転させるステップと、
前記第1チャンバから第2チャンバへ血漿を引き出すために血液試料ユニットのピストンを動かすステップと、
前記第2チャンバ内の前記血漿と前記血漿中のフィブリノゲンをフィブリン重合体内へ転換させる酵素とを混合するステップと、
前記第2チャンバ内へシリンジから溶解用緩衝液を放出するステップと、
フィブリン単量体溶液を形成する目的で前記緩衝液中に前記フィブリン重合体を溶解させるために交互の方向に前記血液試料ユニットを回転させるステップと、
前記第2チャンバ内へ酵素捕捉試薬を放出するステップと、
前記フィブリン単量体溶液が前記血液試料ユニットの第3チャンバ内へ流入するように前記血液試料ユニットを操作するステップと、
前記フィブリン単量体が環状フィルタを通して前記血液試料ユニットの第4チャンバ内へ流入するように前記血液試料ユニットを回転させるステップと、
前記フィブリン単量体を前記シリンジ内へ移すステップとを含む、請求項1記載の血液処理装置を制御するためのシステム。

【請求項3】 前記血液処理装置の前記メモリが前記スクリプトおよび相違するスクリプトを含んでおり、これにより、複数のスクリプトを定義し、
前記血液処理装置が、前記血液試料ユニットの標識を読み取って前記標識に対応する指示を提供するリーダを含んでおり、
前記マイクロプロセッサが前記指示に基づいて複数のスクリプトから1つを選ぶ、請求項2記載の血液処理装置を制御するためのシステム。

【請求項4】 前記リーダがバーコードリーダである、請求項3記載の血液処理装置を制御するためのシステム。

【請求項5】 前記スクリプトジェネレータがさらに限界値情報を含んでおり、
前記選択された一連のステップが前記ステップの各々について各パラメータ情報を含んでおり、
前記ユーザーインターフェースが前記パラメータ情報における無効な数値をチェックするために前記限界値情報を使用する、請求項1記載の血液処理装置を制御するためのシステム。